

# JBNサポートセンター・レポート

## Japan Builders Network

- ①ストックの優良化・活性化へ始動
- ②活動報告、事務局ダイアリー
- ③エコハウス&エコビルドEXPO「JBN工務店セミナー」ほか
- ④お知らせ

2014. February  
No.55

2月号

### ストックの優良化・活性化へ始動

2014年度の政府予算案が昨年12月24日に閣議決定され、国会で審議されます。住宅関係では以下のような内容が重点施策として掲げられています。

- i) 国民の安全・安心の確保
  - ii) 地域の活性化と豊かな暮らしの実現
  - iii) 中古住宅流通・リフォーム促進等の住宅市場活性化
- の3つの分野について、東日本大震災からの復興を加速させるとともに、新たな投資を促す誘発効果が高いもの、緊急性が高いもの、規制改革と一体として講じるものについて重点的に支援し、限られた予算で最大限の効果の発現を図る、というものです。

JBNでは、1月15日(水)の理事会開催にあわせて、社員会員、協力会員にもよびかけ、国土交通省住宅局の平成26年度施策説明会を開催し、JBNの来年度の重点的な取り組みについても説明をしました。以下にこの説明会の概要を紹介いたします。

#### 「住宅が資産になる日本」の始まりの年に

最初にJBN青木会長が立ち、「人口減・家余りが進むが国では、住宅の「量から質へ」、「ストック対策」が喫緊のテーマだが、いよいよ実現の方向が明らかになってきた。私は「住宅が資産になる日本」の始まりだと捉えています。住宅を所有する者が、将来貸せる、売れる、お金を借りられる社会づくりだと思ふ。やっと地域工務店が消費者のためになり、仕事になる可能性がでてきた。リフォーム・マーケットを10兆円から20兆円の市場へ。地域工務店にとって「性能向上リフォーム」をこれからのビジネスとしてとらえよう。顧客、まち、環境に対応できる関係者間のネットワークとブランド化のための「住宅履歴情報」、「インスペクションシステム」、「リフォーム瑕疵保険」、「維持管理」の4つの仕組みをJBNはすでに準備している。中古住宅流通市場では、空き家対策のリフォームで業界と連携し、新しい市場創出と貢献を目指そう。」と挨拶しました。



挨拶をする青木会長

#### リフォームによる性能向上・長期優良化政策

国土交通省住宅局住宅生産課の松野秀生住宅ストック活用・リフォーム推進官から約1時間にわたって「中古住宅流通・リフォーム促進等の住宅市場活性化」に関する基本的な考え方、目指す方向、検討の経過、制度など政策の全容について説明を受けました。既存住宅のリフォームによる性能向上・長期優良化に係る検討会、中古住宅市場活性化ラウンドテーブル委員会、中古住宅に係る建物評価手法の改善のあり方検討委員会など政府委員会で検討された資料に基づくものでした。JBN・青木会長もこれら委員会メンバーの一員として業界からの意見を述べており、政策推進にも強い協力姿勢を見せています。主な住宅ストックの活性化政策の大きな方向は以下の通りです。



国土交通省住宅局住宅生産課 松野 秀生氏

### 「長期優良住宅化リフォーム推進事業」(案)の概要

**目的** 日本再興戦略中長期工程表における重要業績指標「中古住宅流通・リフォーム市場の規模を倍増」の早期達成に向け、リフォーム市場の拡大と、良質な中古住宅の流通を促進。  
\*10兆円(2010年)→20兆円(2020年)

**事業の趣旨** インスペクション、性能の向上のためのリフォーム及び適切なメンテナンスによる住宅ストックの長寿命化を図る優良な取り組みに対し、国が事業の実施に要する費用の一部について支援することにより、既存住宅ストックの質の向上及び流通促進に向けた市場環境の醸成を図る。

- 要件**
- ①リフォーム工事前にインスペクションを行うとともに維持保全計画を作成すること。
  - ②対象となる性能項目のいずれかの性能向上に資するリフォーム工事を行うこと。
  - ③リフォーム工事後に少なくとも劣化対策と耐震性(新耐震基準適

・質の高い多様な住宅ストックの形成を図るとともに、これまで形成されてきた国富としての既存住宅ストックを有効活用する。  
2020年までに中古住宅流通・リフォーム市場を20兆円まで倍増させることを目指す。  
・長期優良化リフォームへの支援、住宅ストック活用のための市場環境の整備等を促進する。

- ①長期優良化リフォームへの支援  
既存住宅の質の向上を図るため、リフォームした既存住宅を長期優良住宅等として評価する基準の整備と合わせ、住宅の長寿命化に資するリフォームの先進的な取り組みを支援する仕組みを創設する。
- ②住宅ストック活用のための市場環境整備  
住宅ストック活用のための市場環境整備を図るため、消費者に対する相談体制の整備や、今後空き家の増加が見込まれる郊外型住宅団地における既存住宅の流通・活用に向けた取り組み等を支援する。また、適切な建物評価手法の定着を図るため、中古住宅・リフォーム市場と金融の連携強化を図るほか、中古住宅流通市場の動向把握や戸建賃貸市場活性化の手法について検討する。

#### 長期優良住宅化リフォーム推進事業の概要

松野推進官の説明に続いて、住宅生産課中野秀也課長補佐から、平成25年度補正予算案に盛り込まれた「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の概要が説明されました。今国会で補正予算成立後、内容が確定し、公募される予定です。主なポイントを下記図にまとめました。  
詳しくは、国土交通省ホームページ「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の公募内容に係る情報提供をご覧ください。  
[http://www.mlit.go.jp/report/press/house04\\_hh\\_000496.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_000496.html)

#### 再生住宅あんしん検索WEBの概要

JBNで、JTI(一般社団法人移住・住みかえ支援機構 大垣尚司代表)との連携で進めるプロジェクトです。概要は以下の通りです。  
マンションの中古流通に「リノベーション」が定着してきました。その一方で戸建住宅の中古流通は遅れが目立っています。戸建住宅の空き家、並びに空き家予備軍の流通に実績のあるJTIはこの遅れの要因を分析し、次のように結論付けました。購入者・入居者の良質な中古住宅の購入、或いは賃借のニーズは高まっている。間取り・設備・内装の改修に加え、耐震や省エネなどの性能向上に伴う安心できるものが求められている。このニーズに応えた戸建住宅を「再生住宅」と呼び、この普及を図らなければならない。  
・こうした大規模修繕を適切に取り扱うことのできる優良なリフォームの担い手に関する情報が不足している  
・あわせて全国の再生住宅情報を閲覧できる消費者サイドに立った情報サイトの構築が急がれる  
そこで、JBNでは「再生住宅あんしん検索WEB」のサイト構築を進めるにあたり、①「登録事業者認定業務」と②「再生住宅登録業務」の二つの業務を実施することとなりました。このサイトで検索される工務店は、JBNによりその技術・経験が信頼できるレベルにあることや、リフォーム瑕疵保険などの導入が確認されている[適]認定を受けたもので、ユーザーへの安心感を醸成していくものです。この詳しい説明会が下記日程で開催されます。  
2月5日(水) 14:00~17:00 住宅あんしん会議室(東京都中央区京橋1-6-1)

## お知らせ

### 講習会・セミナー・見学会

#### ●「性能向上リフォームの考え方と取り組み」講習会

国の「長期優良化リフォーム推進事業」が始まります。好評を得た昨年度「既存住宅の性能向上リフォーム・耐震・断熱で生まれ変わる家」をもとに、優れた事例を補充し、実践的な取り組み、顧客への説明提案の実際を学びます。

#### プログラム

- ①性能向上リフォームのすすめ
- ②事例で学ぶ性能向上リフォーム
- ③顧客への性能向上リフォーム提案
- ④性能向上リフォームと長期優良化リフォーム推進事業

講師:(敬称略・順不同)今井信博・樋口祥一(現代計画研究所)

JBN・既存改修委員会/玉置敏子ほか委員

主催:一般社団法人JBN

共催:JBN連携団体

受講資格:JBN会員企業に所属の従事者

受講料:1名1,000円

開催日程:(いずれも13:00~17:00)

2月10日(月) 富山(70名)	(株)富山県総合情報センター 「セミナー室A・B」
13日(木) 愛媛(70名)	ウェルピア伊予2階「鳳凰の間」
14日(金) 長野(70名)	まつもと情報創造館 「マルチメディアホール」
17日(月) 熊本(70名)	熊本空港ホテルエミナース 「りんどうの間」
18日(火) 岡山(70名)	ラヴィール岡山6階「フルール」
20日(木) 福島(70名)	郡山市民文化センター4階 「第3会議室」

問合せ先・申込先:JBN事務局 03-5540-6678

#### ●JBNインスペクター

##### 「木造住宅・工事管理の実務・地盤基礎部門」講習会

JBNインスペクション・システムの一環として工事種別の工事管理講習会です。

JBN協力機関と連携し、より専門的、具体的に工事管理のポイントを分かり易く解説します。現場監督の能力向上研修としてご利用ください。

講習修了後の審査合格者にはJBNインスペクター(地盤基礎部門)証を交付します。

主催:JBN・サポートセンター

協力:(一財)建材試験センター、(株)住宅保証機構

開催地:建材試験センター 西日本試験所(山口県山陽小野田市大字山川)

開催日時:2014年4月17日(木) 10:00~17:00

受講料:3,000円(テキスト代を含む)

#### プログラム

- 10:00~11:00 木造住宅の工事管理とJBNインスペクション・システム  
(一社)JBN・サポートセンター長 藤澤好一
- 11:00~12:30 木造住宅の地盤基礎と事故事例と管理ポイント  
(株)住宅保証機構・技術部
- 13:20~14:00 建材試験センターの評価、試験業務、施設紹介  
(一財)建材試験センター・西日本試験所所長 井上英雄
- 14:00~15:20 基礎工事の管理ポイント  
西日本試験所課長代理 流田靖博
- 15:30~16:30 基礎の鉄筋・コンクリートの品質と試験  
宇都宮大学名誉教授 樹田佳寛
- 16:30~17:00 考査

その後の予定

開催日時:2014年6月19日(木) 10:00~17:00

開催場所:建材試験センター・中央試験所

以降、全国5カ所で順次開催

7月・近畿、9月・北海道、11月・東北、12月・中部で開催予定

#### ●発行

##### 一般社団法人 JBN・サポートセンター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階  
TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679  
E-mail : jbn@jbn-support.jp homepage : <http://www.jbn-support.jp>  
©JBN・サポートセンター 禁無断転載

### ●新しい刊行物

#### ●JBN全国大会in広島 設立5周年記念誌

開催された大会の内容の記録に重点をおいた記念誌です。

5周年記念大会の意義は、JBNにとって新しい歴史を刻み、未来を語り合う、ことにあり、テーマは「地域工務店の新たな市場展開」。分科会テーマも「5つの新たな市場展開」であり、地域に貢献できる業態としてこれからをどう切り拓くか、でした。会期も3日間にわたり、式典の前後に、第1回大工エキスパートマスターズ大会、5会場での分科会を配し、これまでにない企画として、新しい歴史を刻むためのプログラムを1年近くかけて練り上げ、準備してきた大会の全記録です。本誌とともに全会員にお届けします。

刊行:一般社団法人JBN 2014年1月 A4 72ページ

#### ●地域工務店の省エネ住宅仕様事例集

一さあ、始めよう、一次エネルギー消費量表示—  
大会・第三分科会(環境委員会)「地域工務店ならではの省エネ住宅仕様の先進事例を学びつくす」のテキストとして編集、刊行されました。

20社26事例が紹介されています。

監修:JBN・環境委員会 刊行協力:創樹社

刊行:2013年11月 A4 66ページ

定価:1,500円(税込)

#### ●「木造建築士資格研修テキスト」平成26年度版配本

「地域型住宅ブランド化」の信頼できる担い手に木造建築士

平成26年度の資格試験にあわせて改定増補しました。

JBN・サポートセンター編、藤澤好一監修

2014年2月20日ごろ配本予定

定価:3,800円(消費税込) 発行:井上書院

#### ●「性能向上リフォームで生まれ変わる家」

消費者向けのパンフレットが出来ました。

先に刊行された「既存住宅の性能向上リフォーム・耐震・断熱で生まれ変わる家」から、消費者向けに性能向上リフォームをすすめる上でのポイントと施工事例を判りやすく、順序だてて説明しています。営業ツールとして、内部研修資料としてご利用ください。

A4中折6ページ・カラー セット単位でお申し込みください。

会員頒価:1セット(20部) 2,500円(税・送料共)

#### ●「既存住宅の性能向上リフォーム・耐震・断熱で生まれ変わる家」

既存住宅の性能向上リフォーム研修会用テキスト

国土交通省・平成24年度補助事業「木造住宅等の施工能力向上・継承事業-既存住宅の性能向上リフォーム」により地域工務店ならではの事例にもとづく実務書が刊行されました。

- 構成:①性能向上リフォームのすすめ  
②北海道発の性能向上リフォームに学ぶ  
③事例に学ぶ性能向上リフォーム  
④参考情報

刊行:2013年2月 A4 69ページ

監修:JBN・サポートセンター

### ●その他の刊行物

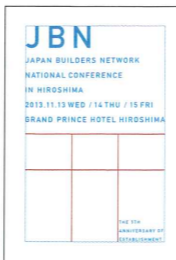
#### ●木造軸組工法による省令準耐火構造の住宅(第2版)

旧版に新たな実験結果に基づき室内真壁造における梁・柱の4面頭しに関する機構承認仕様を追加しました。あわせて、住宅金融支援機構監修「木造住宅工事仕様書・19・省令準耐火構造の住宅の仕様」に則った構成に改めました。

刊行:2012年9月 A4 118ページ

#### ○JBN・サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシートも改訂しました。

#### ●長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。

活動報告

前月号以降の活動

○第0605回 理事会 1月15日(水) 15:00~17:50

開催場所:TKPガーデンシティ竹橋 カンファレンスルーム10B

出席理事数:14名(総数17名)

出席監事数:2名(総数2名)

【あいさつ】

・青木会長

広島大会は、河井副会長、池田監事をはじめ地元のご尽力でJBNここにありというアピールができた。先ほど、長期優良住宅のリフォームの説明会があったが、JBNは長期優良住宅促進法に先駆けて先導モデルを3年間で1,500戸の実績がある。新しい時代を迎え、新しい事業としたい。今年は役員改選もあり、全国組織JBNにふさわしい理事会としたい。全国47都道府県のうち、現在7県に組織がない。なんとか全県に設立して国土交通省や他団体も認める全国組織となるよう努力をしていきたい。

・河井副会長

昨年11月、全国大会を広島で開催させて頂いた。その2ヶ月前の理事会で大変失礼な発言をしたが、結果的に一枚岩になったと思う。結果良ければということでお許しを頂きたい。広島大会は実力以上の大風呂敷を広げたが、会員の皆様のご努力で何とか大会を形に出来て、外部の方々にもそれをお見せし、認めて頂けたと思う。現在の会員2,500社を3,000社、5,000社と目指すには、それに相応しいサービスができる組織にしていく責任の重さを痛感している。ここで1、2年かけて全国組織にふさわしい組織にしていくために、皆様のご協力をあらためてお願いしたい。

【報告事項】

- 1) 電通とのスマートホームプロジェクト進捗状況
- 2) 前回(11/13 第6期第5回)理事会議事録
- 3) 月次定例報告(センターレポート、会員実数、住宅履歴登録数、財務概況等)
- 4) 広島大会実施結果
- 5) 建設マスターの候補者推薦
- 6) エコハウス&エコビルディングEXPO(2/26(水)~28(金))への協力
- 7) インспекター講習会(工事管理とインспекション、基礎、他)
- 8) 国土交通省工務店実態調査へのJBNとしての協力
- 9) 移住・住みかえ機構との共同補助事業
- 10) その他  
来年度の全国大会、大工エキスパートJBNマスターズ大会の開催等

【審議事項】

- 1) 年間スケジュール(平成26年1月~平成27年3月の主要行事)について  
5月28日の理事会を29日に変更。2月の四役会を理事会に変更し、12日に開催
- 2) 日本海ガスの入会再審査(10/9理事会で保留)について  
協力会員としての入会再申請を要請
- 3) 連携団体アース21の退会に伴う賛助金残額250,000円の返還について  
賛助金残額の返還を承認
- 4) 新規入会(連携団体・会員・協力会員)の承認について  
申請のあった連携団体2団体、協力会員3社、正会員については1社を除く30団体・社の入会を承認
- 5) 新年度に向けての体制整備について  
四役会の構成、事務局体制、労務管理、次年度体制、事業計画、予算等、関連する定款変更等を次回継続審議
- 6) 大工育成ファンドの創設について  
主旨を了解、次回理事会にて詳細審議
- 7) 既存ストック対応ビジネスWGについて  
設置を承認
- 8) その他  
「小規模建築物・設計施工・活用工事請負等契約約款」の発行、販売等のJBN取り扱いを承認  
スマートホームWGの設置、大工育成WGの委員会への昇格等は次回継続審議

●次年度の主な開催日程

理事会:2014年2月12日(水)、3月11日(火)、5月29日(木)、6月11日(水)、9月10日(水)、10月9日(木)、11月12日(水)、

2015年1月14日(水)、2月25日(水)  
第7期定時総会:2014年6月11日(水)  
第6回全国大会・横浜:2014年10月9日(木)・10日(金)  
ジャパンホームショー:2014年11月12日(水)~14日(金)  
エコハウス&エコビルドExpo:2015年2月25日(水)~27日(金)

事務局ダイアリー・会長の動き(2013年12月~1月)

2013年12月	事務局	委員会	講習会	会長(白ヌキは予定)
2日(月)	▲木造長期優良住宅の総合的検証委員会、個人住宅の賃貸流通の促進に関する検討会 JBN事例発表(坂下・小林)(国土交通省)			
3日(火)	■長期優良住宅壁量計算の実務研修会(岡山) ■長期優良住宅活用セミナー(新潟)			
4日(水)	▲神奈川県木造住宅協会+JBN神奈川県忘年会 ■長期優良住宅壁量計算の実務研修会(兵庫) ▲2014年開催ロイヤルパークホテル打ち合わせ 山田一元会長			
5日(木)	■JBN耐震診断施工指導者講習会(徳島)1日目			
6日(金)	■JBN耐震診断施工指導者講習会(徳島)2日目 ▲三重県災害協定 坂下会長、全国建設労働組合総連合 ■長期優良住宅活用セミナー(鳥取)			
10日(火)	▲公益社団法人 日本建築士会連合会 三井所会長/一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会三栖会長/公益社団法人 日本建築家協会 筒井専務理事 他来社 正副会長・センター長情報交換 ■長期優良住宅壁量計算の実務研修会(山梨)			
11日(水)	●理事会			
12日(木)	■中古住宅流通WG ▲森林・林業・木材関連産業労組連絡会総会にて、国産材で作る仮設住宅について講演 ▲国土交通省住宅生産課打ち合わせ			
17日(火)	▲次世代の会 国土交通省佐々木補佐の税支援についてのセミナー			
18日(水)	●全国建設労働組合総連合 田口書記次長と意見交換			
19日(木)	●会計事務所打ち合わせ、一般社団法人 移住・住みかえ支援機構 大垣代表理事と打ち合わせ			
20日(金)	▲全国木造住宅生産体制推進協議会強化委員会委員長として出席			
24日(火)	●国土交通省打ち合わせ(アンケートの件) ■既存改修委員会			
25日(水)	●仕事納め			
27日(金)				
2014年1月				
6日(月)	●仕事始め			
8日(水)	▲三役打ち合わせ			
9日(木)	■大型木造研究委員会実験(富山)1日目			
10日(金)	■大型木造研究委員会実験(富山)2日目 ▲国土交通省・林野庁・環境省あいさつ 河井副会長 ■国土交通省平成26年度施策説明会 ●理事会 社員参加 ●協力会員・社員・理事懇親会 ■長期優良住宅壁量計算の実務研修会(富山) ■次世代の会 ▲全国木造住宅生産体制推進協議会強化委員会委員長として出席			
15日(水)	■長期優良住宅活用セミナー(青森) ■省令準 & 防火講習会(神奈川)			
16日(木)	▲全国木造住宅生産体制推進協議会強化委員会 ■長期優良住宅活用セミナー(山形)			
20日(月)	▲木を活かす建築推進協議会 技能者育成WG ▲LIXIL筒井副社長 来訪			
22日(水)	■JBN耐震診断施工指導者講習会(滋賀)1日目 ●全木協神奈川県協会 応急仮設木造住宅「施工技術等講習会」			
23日(木)	■JBN耐震診断施工指導者講習会(滋賀)2日目 ■長期優良住宅活用セミナー(秋田)			
24日(金)	○会計事務所打合せ □ストックビジネスWG □中古住宅流通WG			
27日(月)	□国産材委員会主催セミナー □長期優良住宅壁量計算の実務研修会(熊本) □省令準 & 防火講習会(岐阜)			
28日(火)	□長期優良住宅活用セミナー(福島) □環境委員会			
29日(水)	□JBN耐震診断施工指導者講習会(福岡県)			
30日(木)	□JBN耐震診断施工指導者講習会(福岡県) □既存改修委員会			
31日(金)				

●ストックビジネスWGの設立趣旨

JBNでは、かねてより既存改修委員会や中古住宅流通WGにて住宅ストックに対応した研究活動を進めておりましたが、あらためてこの動きを加速すべく、「既存ストック対応ビジネスWG」を設けることとし、1月15日理事会にて承認され、第一回の会合が1月27日(月)に開催されました。

●人事異動(退職)

12月26日付 上田竜也 依願退職  
1月31日付 小倉京子 依願退職

●JBN主催の「工務店セミナー」開催、第4回 エコハウス&エコビルディングEXPO

会期:2014年2月26日(水)~28日(金)  
会場:東京ビッグサイト 西ホール(同時開催展含め東西全館使用)

主催:リード エグジビション ジャパン(株)  
展示会規模:出展社数:2,100社(同時開催展含む)  
来場者数:90,000名

同時開催展:スマートエネルギーWeek2014として/第7回[国際]太陽電池展~PV EXPO~/第5回[国際]二次電池展/第4回[国際]スマートグリッド EXPO/第10回[国際]水素・燃料電池展/第2回[国際]風力発電展~WIND EXPO~ など

日本の低炭素社会の実現には住宅・建築物の省エネ性能のさらなる向上が求められています。第4回エコハウス&エコビルディングEXPOは「スマートエネルギー Week」を構成する見本市の一つとして、2010年にスタート。省エネ住宅・エコ建築に必要な建材、住宅設備、関連技術が展示され、工務店、設計事務所、ハウスメーカー、ゼネコンなどの専門家が来場し、商談などが行われるこの分野ではわが国最大規模の展示会です。

JBNでは、専用のセミナー・コーナーの提供を受け、工務店を対象に省エネを中心としたテーマのセミナーを企画、運営します。プログラムでは先の全国大会第三分科会(環境委員会)が作成、刊行した「地域工務店の省エネ住宅仕様・事例集」による事例報告を予定しています。見学や他のセミナー聴講とあわせてご来場をご予定ください。

JBN会員には主催者(リード エグジビション ジャパン(株))から別途、VIP招待状と案内が送付されますので、詳細はそちらでご確認ください。

公式サイトURL: <http://www.ecohouseexpo.jp>

JBN工務店セミナー・プログラム

	2月26日(水)	2月27日(木)	2月28日(金)
11:00 }	地域工務店の生き残りのために <b>JBNの課題と取組み</b>		
12:00	JBN会長 青木宏之		
13:00 }	さあ、始めよう一次エネルギー消費量表示 <b>地域工務店の省エネ住宅最新事例</b>		
14:20	JBN 環境委員会		
14:40 }	中古流通 & 省エネ改修 <b>リノベから再生住宅へ</b>		
15:40	JBN × 移住住みかえ機構		
16:00 }	スマ@ホーム <b>地域工務店のICT戦略</b>		
17:00	JBN × 電通		

●ハイブリッド型トラス梁加力実験

改良型で設計荷重をクリア

大規模木造研究委員会が、東京大学腰原研究室の指導協力のもとで進めている学校建築の床梁としての使用を想定した木造ハイブリッド型トラス・Htr-8000(改良型)の静的載荷実験が2014年1月9日(木)・10日(金)の2日間、富山県農林水産総合技術センター木材研究所で行われました。

今回の実験は、昨年度の静的載荷実験の結果を受けて、斜材と弦材の継ぎ手部分の仕口形状に改良を加えた改良型の性能の検証が目的です。実験は、前回と同じ条件の4点支持、中央から910mmずつ離れた2点に集中荷重を加えるもので、斜材や弦材の変位、めり込み量、応力等が計測されました。

1日目は、鉛直荷重についての性能確認を行い、応力計算用の長期許容荷重が4.28kN/m<sup>2</sup>、変形計算用の長期許容荷重が2.94kN/m<sup>2</sup>曲げ剛性が8.430kN/m<sup>2</sup>という結果となり、耐力・剛性ともに大幅な改善が見られました。

2日目は通常の使用時と逆向きに荷重をかけ、風の吹き上げなど外力に対してどのような性能を持つかを確認しました。加力により、変形が進むと、束材の浮き上がり、斜材と弦材を留めるビスが抜け、上弦材の両端部分の割れが生じたが、荷重は緩やかに低下し、急激な低下はありませんでした。

今回の実験により、変形計算用の設計荷重をクリアするという目的が達成され、見学に訪れた委員からは、耐力の改善が確認でき、安心したという声もきかれました。

●全木協神奈川県協会が応急仮設木造住宅の施工講習会を開催

応急仮設木造住宅を建設する施工技術講習会が1月23日(木)、神奈川県横須賀市で開催されました。

全木協建設事業協会(全木協)・神奈川県協会(山田一元会長)が主催したもので、参加者は120名。全木協千葉県協会のメンバーも視察に訪れるなど、会員の災害時対策への関心の高さがうかがえました。また、横須賀市でも、実技用地の公園を提供するなど協会の活動に大きな期待を寄せていました。

午前中の座学では、福島県で建設した応急仮設の建設の流れ、災害に対する考え方を学習しました。

午後の実技では、幹事の榊青木工務店の青木社長を中心に、実際に大工が敷地に9坪タイプの住宅1棟の建て方までを施工しました。建物の基礎は、90cmピッチで打った木杭の上に土台を敷き、金物で固定する方式。「基礎がない建て方が経験でき、災害時には慌てず対応できそう。いい経験になった」という参加者の感想も聞かれました。

全木協では、現在までに15都県と災害協定を締結しています。その他の道府県とも協定締結を進めているところですが、このような活動を通じて被災地の大工をはじめとする建設技能者、工務店の技術力と結集力をアピールし、経済復興への貢献が大きいことも訴えていくことにしています。

災害時の木材の供給も、全木協と提携する全国各地の木材会社が行うことで、必要な応急仮設木造住宅が迅速に建設できるように調整を進めています。



改良型トラス梁への載荷



終局時の改良型トラス梁



横須賀市神明第2公園で開催された応急仮設木造住宅施工技術講習会